



# News Release

ニュースリリース 関係者各位

2024年12月20日

一般社団法人デジタル出版者連盟

## デジタル出版者連盟（通称：電書連）

### 読書バリアフリー法への市場での対応に対する期待

デジタル出版者連盟（以下「電書連」といいます。）の加盟社は、音声読み上げに対応した EPUB3 形式のリフロー型電子書籍ファイルを多く製作してまいりました。

そして本年、作家 3 団体の共同声明を受け、6 月 27 日に出版 5 団体の声明を発信しましたように、著作者の方々と同じ思いで、読書バリアフリー法や障害者差別解消法等の法律の理念に沿うことを目指しております。

幸いなことに、この数年で、スマートスピーカーの普及が進み、様々な音声読み上げアプリも登場して、主要 OS 等の独自機能以外にも、音声読み上げ手法が拡充しています。

あわせて、市場においても、電子書店のサイト作りや閲覧ビューアのユーザビリティ向上等、各所の環境整備への取り組みが進むことで、アクセシブルな電子書籍の更なる普及に繋がります。

そして、この動きに並行して、電書連加盟社により、電子書籍の作品刊行が引き続き進められることで、読書に困難を抱える人たちが、より多くの作品に触れる機会を増やすことができると考えております。

電書連は、今後もデバイス開発・製作会社や配信事業者の皆さまが、なお一層積極的に市場での合成音声読み上げ（TTS）への対応を進めていかれることに期待してまいります。

以上

----- 本件に関するお問い合わせ -----  
下記宛にメールにてお願いいたします

E-mail : info@dpfj.or.jp

## デジタル出版者連盟(通称:電書連)について

電書連は、日本の文化的財産である出版文化のデジタル化を促進し、多様な出版文化を維持・継続し、出版者によるデジタル出版事業の健全な発展を図り、国内はもとより全世界に向かって、著作権者とともにデジタル出版の普及を促進することを目的とし、その目的達成のために下記の事業を行う、電子書籍を発行する出版者の団体です。

当団体は、1999年に任意団体・電子文庫出版社会として発足して以降、一般社団法人日本電子書籍出版社協会(略称:電書協 | 英文表記:The Electronic Book Publishers Association of Japan)として、2010年2月1日に登記され、2010年3月24日の設立総会、理事会、第1回総会を経て、正式にスタートしました。その後、2021年10月に一般社団法人デジタルコミック協議会との合併を経て、2022年2月より、現在の一般社団法人デジタル出版者連盟(通称:電書連 | 英文表記:Digital Publishers Federation of Japan)に社名変更いたしました。(令和6年12月現在、正会員53社、賛助会員6社)

〔協会名〕	一般社団法人デジタル出版者連盟(通称:電書連)
〔所在地〕	東京都文京区音羽1-17-14 音羽YKビル6F
〔協会HP〕	<a href="https://dpfj.or.jp/">https://dpfj.or.jp/</a>
〔設立〕	2010年2月1日
〔代表理事〕	講談社・野間省伸
〔参加出版者〕	秋田書店、朝日新聞出版、一迅社、一水社、ウェイブ、NHK出版、宙出版、笠倉出版社、学研ホールディングス、KADOKAWA、河出書房新社、幻冬舎、幻冬舎コミックス、コアミックス、講談社、光文社、CLLENN、Jパブリッシング、実業之日本社、集英社、秋水社、ジュネット、主婦の友社、小学館、小学館集英社プロダクション、祥伝社、少年画報社、松文館、新書館、新潮社、スクウェア・エニックス、世界文化ホールディングス、大和書房、竹書房、辰巳出版、筑摩書房、中央公論新社、東京書籍、東洋経済新報社、徳間書店、日本文芸社、白泉社、ファンギルド、双葉社、フランス書院、ぶんか社、文藝春秋、平凡社、芳文社、マガジンハウス、マッグガーデン、リイド社、リブレ KPSホールディングス(賛助会員)、シャープマーケティングジャパン(賛助会員)、セルシス(賛助会員)、デジタルカタパルト(賛助会員)、ボイジャー(賛助会員)、モバイルブック・ジェーピー(賛助会員)